



エコアクション21

認証番号：0008971

環境経営レポート

(活動期間：令和5年6月～令和6年5月)



 株式会社 水村工務店

発行 令和6年8月31日

第13版

【 目 次 】

1. 組織の概要	1
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 責任者及び事務局	
4) 連絡先	
5) 事業活動の内容	
6) 事業規模	
2. 対象範囲(認証、登録範囲)	
1) 適用事業範囲	
3. 組織体制図	2
4. 環境経営方針	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営目標の実績	5
7. 環境経営計画及び活動取組結果と評価、 次年度の取り組み内容	6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・ 並びに違反、訴訟等の有無	7
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	8

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 水村工務店

代表取締役 神崎 勝年

2) 所在地

〒 252-0815

神奈川県藤沢市石川 5 丁目 5 番地の 1 0

3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者 : 取締役 神崎 清孝

EA-21事務局 : 総務部 神崎 敦子 工事部 神崎 健一

4) 連絡先

連絡担当者 神崎 清孝 (EA-21責任者)

T E L : 0466-87-2787

F A X : 0466-87-0610

M A I L : info@mizumura-koumuten.co.jp

5) 事業活動の内容

登録許可番号 特定建設業神奈川県知事許可（特-3）第2671号

- ・ 土木工事一式、とび・土工工事、舗装工事、上下水道工事
塗装工事、しゅんせつ工事、鋼構造物工事、石工事、解体工事

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	340	380	506
従業員	人	9	9	11
床面積	m ²	290	290	290
資材置場	m ²	1136	1136	1136
車両置場	m ²	287	287	287

2. 対象範囲

1) 適用事業範囲

本 社 : 神奈川県藤沢市石川 5 丁目 5 番地の 1 0

車 両 置 場 : 神奈川県藤沢市石川 5 丁目 6 番地の 1 9

資材・機材置場 : 神奈川県藤沢市石川 6 丁目 6 番地の 1 8

EA21推進組織図

代 表 取 締 役	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備
神崎 勝年	3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境経営レポートの承認 5. 環境目標及び環境経営計画の承認 6. 経営における課題とチャンスを確認にする

EA-21 責任者	1. EA-21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷および取組への自己チェックの実施 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境経営レポートの作成 5. EA-21に関する実績把握と報告 6. EA-21環境経営マニュアルの作成
神崎 清孝	

EA-21 委員会	1. 環境経営目標及び環境活動計画の結果 2. EA-21に関する審議
委員長	神崎 清孝
事務局	神崎 敦子
工 事 部	神崎 健一

EA-21 事務局	1. EA-21責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 教育、訓練計画の策定と実施（緊急時対応訓練・テスト含む） 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他EA-21に関する業務
神崎 敦子	

本 社 総 務 部
神崎 敦子
1. 環境経営計画の実施 2. 問題点の是正処置
業務
1 積算 2 営業

現 場 統 括 部
神崎 健一
1. 環境経営計画の実施 2. 問題点の是正処置
業務
1 施工管理 2 施工一般

環境経営方針

株式会社 水村工務店は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、広く地域・社会に貢献します

1. 当社は土木工事、とび土工事、舗装工事、上下水道工事事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます

2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します

3. 土木工事、とび土工事、舗装工事、上下水道工事事業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます

① 二酸化炭素排出量の削減

(重機運転・空調・車両管理等による、電気使用量・燃料使用量の削減)

② 事業活動から排出される総排出量産業廃棄物の削減

③ 節水活動による水使用量の削減

④ 施主から優良評価を受領し続ける努力を継続する

4. 事業活動での使用物品・事務用品等はエコ製品の使用に努め、循環型社会の実現に貢献いたします

5. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます

この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します

令和3年4月1日



株式会社 水村工務店
代表取締役 神崎 勝年

環境経営目標

取組項目 (目標項目)(単位)		場 所	基準値	環境経営目標			
			2018年度 (18年6月 ～18年5月)	2020年度 (20年6月 ～21年5月)	2021年度 (21年6月 ～22年5月)	2022年度 (22年6月 ～23年5月)	2023年度 (23年6月 ～24年5月)
1.二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO2)		全 体	48,656	45,998	45,998	78,823	74,882
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	—	—	18年比 5%削減	18年比 5%削減	18年比162%	22年比5%削減
		事務所	8,798	8,358	8,358	14,253	13,540
		現 場	—	—	—	—	—
		全 体	8,798	8,358	8,358	14,253	13,540
	②ガソリン使用量の削減 (営業者・運搬車燃料) (L)	—	—	18年比 5%削減	18年比 5%削減	18年比162%	22年比 5%削減
		事務所	4,518	4,292	4,292	7,319	6,953
		現 場	—	—	—	—	—
		全 体	4,518	4,292	4,292	7,319	6,953
	環境効率指標	原単位	0.159	0.151	0.151	0.151	0.151
	③軽油使用量の削減 (重機・ダンプトラック・機械) (L)	—	—	18年比 5%削減	18年比 5%削減	18年比162%	22年比 5%削減
		事務所	—				
		現 場	13,074	12,420	12,420	21,180	20,121
全 体		13,074	12,420	12,420	21,180	20,121	
環境効率指標	原単位	0.459	0.436	0.436	0.436	0.436	
2.建設廃棄物の削減 (産業廃棄物量) (t)		—	—	18年比 5%削減	18年比 5%削減	18年比162%	22年比 5%削減
		現 場	1,119	1,063	1,063	1,813	1,722
		全 体	1,119	1,063	1,063	1,813	1,722
		環境効率指標	原単位	0.039	0.037	0.037	0.037
3.水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m3)		—	—	18年比 5%削減	18年比 5%削減	18年比162%	18年比 5%削減
		事務所	50.0	47.5	47.5	81	77
		現 場	—				
		全 体	50.0	47.5	47.5	81.0	77.0
4.環境保全取組実施の向上	社員への環境教育訓練	—	1回	1回	1回	1回	
	事務所、現場周辺清掃	—	1回	1回	1回	1回	
5.工事成績評価点の向上 (優良評価点取得率の向上) (取得率=優良件数/完成工事件数)			50%	—	—	50%	50%

※購入電力の二酸化炭素排出係数は

2018、2019年度はH26年度の東京電力会社の0.505kg-CO₂/kWhを利用した。

2020、2021、2022年度はR1年度の東京電力の0.442kg-CO₂/kWhを利用した。

※当社は化学物質は使用していません。

※環境効率指標(原単位)はガソリン、軽油は使用量(L)/売上高(万円)。廃棄物量は排出量(t)/売上高(万円)

環境経営目標

取組項目 (目標項目)(単位)		場 所	基準値	環境経営目標			
			2022年度実績 (22年6月 ～23年5月)	2024年度 (24年6月 ～25年5月)	2025年度 (25年6月 ～26年5月)	2026年度 (26年6月 ～27年5月)	2027年度 (27年6月 ～28年5月)
1.二酸化炭素排出量の削減 (Kg-Co2)		全 体	69,267	69,267	69,267	69,267	69,267
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	—	—	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増
		事務所	9,232	11,078	11,078	11,078	11,078
		現 場	—	—	—	—	—
		全 体	9,232	11,078	11,078	11,078	11,078
	②ガソリン使用量の削減 (営業者・運搬車燃料) (L)	—	—	22年比 30%増	22年比 30%増	22年比 30%増	22年比 30%増
		事務所	5,108	6,130	6,640	6,640	6,640
		現 場	—	—	—	—	—
		全 体	5,108	6,130	6,640	6,640	6,640
	環境効率指標	原単位	0.127	0.165	0.165	0.165	0.165
	③軽油使用量の削減 (重機・ダンプトラック・機械) (L)	—	—	22年比 5%減	22年比 5%減	22年比 5%減	22年比 5%減
		事務所	—	—	—	—	—
		現 場	20,395	19,375	19,375	19,375	19,375
		全 体	20,395	19,375	19,375	19,375	19,375
環境効率指標	原単位	0.509	0.483	0.483	0.483	0.483	
2.建設廃棄物の削減 (産業廃棄物量) (t)		—	—	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増
		現 場	723	868	868	868	868
		全 体	723	868	868	868	868
環境効率指標		原単位	0.018	0.021	0.021	0.021	0.021
3.水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m3)		—	—	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増	22年比 20%増
		事務所	52.0	62	62	62	62
		現 場	—				
		全 体	52.0	62	62	62	62
4.環境保全取組実施の向上	社員への環境教育訓練		—	1回	1回	1回	1回
	事務所、現場周辺清掃		—	1回	1回	1回	1回
5.工事成績評価点の向上 (優良評価点取得率の向上) (取得率=優良件数/完成工事件数)			50%	50%	50%	50%	50%

※購入電力の二酸化炭素排出係数は
2022年度～2027年度はR1年度の東京電力の0.442kg-CO2/kWhを利用した。

※当社は化学物質は使用していません。
※環境効率指標(原単位)はガソリン、軽油は使用量(L)/売上高(万円)。廃棄物量は排出量(t)/売上高(万円)

5. 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。（全社合計）

判定項目

1. 目標値及び実績値は、2022年度運用期間（2022年6月～2023年5月）の12ヶ月間合計

○：100%以上

×：100%未満

取組項目		目標値	実績	達成率	判定
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 取り組み項目と削減率	74,882 kg-CO2	32,488 kg-CO2	230%	○
1. 電気使用量の削減	総電気使用量	13,540 kWh	10,130 kWh	134%	○
2. 燃料使用量の削減	ガソリン使用量の削減 (営業車、運搬車燃料)	6,953 L	6,050 L	115%	○
	原単位の削減	0.151	0.125	121%	○
	軽油使用量の削減 (現場設備機械燃料)	20,121 L	5,153 L	390%	○
	原単位の削減	0.436	0.107	409%	○
廃棄物総排出量の削減	産業廃棄物総排出量の削減	1,722 t	821.9 t	210%	○
	原単位数値	0.037	0.017	218%	○
水資源使用量の削減	年間水資源総使用量 (上水道のみ)	77 m3	58 m3	133%	○
環境保全取組 実施の向上	社員への環境教育訓練 年2回(2月、8月)	1回	2回	200%	○
	事務所、現場周辺清掃 年2回(2月、8月)	1回	2回	200%	○
工事成績評価点の 向上	優良評価点取得率の向上 (取得率=優良件数/完成工事件数)	50%	50% (3/6件)	50%	○

・電力の二酸化炭素排出係数は東京電力の令和1年度の0.442kg-CO2/kWhを使用した。

・原単位・・・廃棄物の削減・・・排出量(t)/売上高(万円)
ガソリン、軽油使用量・・・使用量(L)/売上高(万円)

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

期間2022年6月～2023年5月

評価・よく出来た◎ ほぼ出来た○ 一部できなかった△ 出来なかった×

		環境活動計画	評価	結果、総評	次年度取り組み内容
CO ₂ の削減	電気使用量の削減	①未使用時の電気消灯の徹底	◎	・事務所は空調管理の徹底　・各電源やスイッチに節電シールを付、昼休みや未使用時の節電対策が徹底された為、目標が達成できた。また、事務所の蛍光灯をLEDタイプに変更し消費電力を抑制した。	継続
		②空調温度管理の徹底（夏季：26～28℃、冬季：24～26℃）	◎		継続
		③節電シール等の表示	◎		継続
		④昼休みの消灯	◎		継続
		⑤残業時間の削減検討	△		継続→実施
		⑥パソコン等のオート電源オフ使用	◎		継続
	ガソリン・軽油・灯油使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	◎	・トラックの使用時のアイドリングストップ ・受注量及び現場の場所により変動があるので注意し管理していく。協力業者にもアイドリングストップの協力を仰ぐ。 ・次年度もエコ運転を継続実施する。	継続
		②制限速度・積載量の遵守	△		継続
		③環境配慮型機械の選定	◎		継続
産業廃棄物排出量の削減		①廃棄物の分別徹底	◎	・リサイクル率の向上については分別保管徹底により、また、リサイクル処理業者の探索及び分別の徹底によりリサイクル率が予想以上の効果を上げることができた。 ・次年度も廃棄物の分別等を継続実施する	継続
		②排出量のマニフェスト伝票管理	◎		継続
		③建設廃棄物のリサイクル推進	◎		継続
一般廃棄物排出量の削減		①廃棄物の分別の徹底。	◎	事務所についてはゴミ減量及び分別の成果が上がっている。現場の一般廃棄物搬出量の削減については工事の受注状況、工事の種類によって大きく変動するため分別の徹底をおこないリサイクル率向上に努めた。 ・次年度も継続実施する。 ・電子ペーパーソフトを使用するため、ミスプリントの削減につながった。	継続
		②リサイクルボックス設置し。裏面コピー、メモ紙利用	○		継続
		③排出量の計量管理。	◎		継続
		④ミスプリントが無いようにコピー前に確認する（サイズ、枚数）	◎		継続
水資源使用量の削減		①節水シール等の表示	◎	全体の水資源の使用量の削減はできているが建物の老朽により漏水が増えてきているので注意しておく事。 事務所2階にて漏水が確認されたため修理を行った。 現場については雨水タンク、地下水を利用し上水の使用を控えているので、今後も引き続き続けていくこと。	継続
		②節水こまの取付	×		継続
		③水を流しっぱなしにしない	◎		継続
		④地下水の利用量の管理	◎		継続
環境保全取組実施の向上		①教育訓練の実施	◎	事務所、現場共に計画された環境保全活動が実施されている。今後も活動を継続していく。	継続
		②毎年取組み状況チェック	◎		継続
		③E A - 2 1 システムの確実な実施	◎		継続
		④事務所周辺の草刈・地域ボランティア活動参加	◎		継続
		⑤工事現場及び周辺の清掃	◎		継続
工事成績評価点の向上		①環境配慮型機材の使用		低騒音、排ガス規制機材は日常的に使用している。 又、再生資材は積極的に利用できた。 廃棄物発生時には分別の徹底ができ、適正に排出できている。	継続
		②再生資材の積極的使用			継続
		③工期短縮の為の工程表の利用			継続
		④機材の燃費向上			継続
		⑤廃棄物の適正処理			継続

地域社会貢献

藤沢市建設業協会 社会貢献活動
海拔表示ステッカー貼付模様



藤沢市主催の産業フェスタに
藤沢市建設業協会として参加



倒木処理作業



太陽光発電の採用

太陽光発電装置
約7,000kW/年間の発電



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な法規制等と現在までの遵守状況

基準年度（2018年度）より現在まで環境関連法規に関して、遵守しており違反・訴訟はありません。

法規制等の名称		該当する活動	遵守状況
1	騒音規制法（環境省）	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵 守
2	振動規制法（環境省）	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵 守
3	騒音規制法（神奈川県・藤沢市条例）	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵 守
4	振動規制法（神奈川県・藤沢市条例）	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵 守
5	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	建設副産物の利用促進、対象建設工事の計画書及び実施書の作成・報告	遵 守
6	道路交通法	安全運転義務、車両の点検整備の義務、交通公害防止の交通規制の遵守	遵 守
7	資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	使用済み物品等の再生資源・再生部品として利用の促進	遵 守
8	再生資源利用省令	施工場所及び再資源化施設の立地状況等を勘案し、指定副産物（建設発生土・Co塊・As塊）の利用、搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	遵 守
9	指定副産物利用促進省令	再生資源利用量の把握等による計画の作成、実施記録の1年間保存、再資源化施設の活用を図り、指定副産物（建設発生土・Co塊・As塊・建設発生木材）に係る再生資源の利用促進	遵 守
10	特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律(家電リサイクル法)	長期使用、廃棄の際、指定業者にリサイクル料金を支払う	適正処理
11	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	使用済みとなった自動車を引取り業者に引渡す	適正処理
12	建設リサイクル法	適切な施工方法の選択及び施工機械の選定、分別の徹底、マニユフェストの保管	遵 守
13	消防法	消防用設備の設置、維持、火気の使用又は取り扱いに関する監督、通報活動、消火、通報および避難訓練の実施	遵 守
14	神奈川県環境基本条例	公害防止及び、自然環境の保全に努める	遵 守
15	神奈川県環境基本条例県民の住みよい環境の保全に関する条例	事務所及び工事現場周辺の美化	遵 守
16	神奈川県水と緑の森林づくり条例	水と緑の森林づくりに協力する	遵 守
17	大規模災害時における応急対策業務等に関する基本協定書	藤沢市建設業協会の指示に従い応急対策業務をおこなう	遵 守
18	藤沢市環境基本条例	事業活動に係り環境への負荷の低減に努めなければならない。	遵 守

8. 代表者による全体の評価と見直し結果

見直し日時・場所		令和6年6月15日 10:00 ～ 12:00	場所 事務所
参加者		【代表者】神崎勝年（代表取締役）【EA-21責任者】神崎清孝 【EA-21事務局】神崎敦子【工事部】神崎健一	
インプット情報		情報内容・資料等	社長による指示事項
①環境への負荷の自己チェック結果		令和6年6月2日作成の取りまとめ表データで説明	指示事項なし
②環境への取組の自己チェック結果		令和6年6月2日作成の取組状況チェックシートで説明	実施度合の低い項目は環境経営計画に反映されているかどうか再度確認すること。反映されていないとすれば活動計画に取り入れるようにする。
③環境関連法規制等一覧表/遵守状況のチェック結果		「環境関連法規の取りまとめ（兼）遵守評価表」及び契約書・許可書・届出書・マニフェスト等で説明	委託契約書、マニフェストの管理は今後も確実にやっていくこと。
④環境目標の達成度		・二酸化炭素排出量の削減においては、達成率230.5%であり達成した。 ・廃棄物の削減は総量は821.9tであり目標は210%で達成した。 ・ガソリンは115%、軽油は390%であった。共に達成した。 ・水資源利用料削減においては133%であり達成した。 ・清掃活動の取組は出来ている。 ・工事成績評定点では、2件とも77点以上の高評価を得ることができ達成した。	・二酸化炭素排出量は目標値を達成したので、今後も目標に達成するよう努めること。 ・廃棄物削減も達成している為、分別処理的確に行い、廃棄物削減に努めること。 ・水資源に関しても最低使用量程度のため、これ以上の削減は厳しいと思われるが今後も節水に努めること。また、節水シールが劣化剥がれ等無いかなど再度確認すること。 ・清掃活動は地域住民からの評価にも繋がり易い為、今後も高評価を得られるよう創意工夫を行いながら工事を進めていくこと。
⑤環境活動計画の実施状況		環境経営計画表及び環境経営目標／経営計画結果管理表で説明	指示事項なし
⑥教育・訓練実施結果		環境教育・訓練計画／実施結果で説明	今後も継続して実施すること。
⑦苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果		外部環境情報記録表で説明 ・4件の苦情が発生した。	次年度は苦情が無いように管理すること。なぜ起きてしまったのか原因を究明し今後の活動に活かすようにすること。
⑧緊急事態の準備及び訓練結果		緊急事態対応手順と訓練結果で説明 ・緊急事態→火災発生時と油漏洩時について	今後も継続して実施すること。
⑨問題点の是正・予防処置の状況		問題なし	指示事項なし
⑩環境関連文書・記録の作成・整理状況（環境活動レポート含む）		作成済み文書で確認（環境活動レポートは、見直しが終了後作成）	環境活動レポートを早急に作成すること。
指示事項。指示に対する決定・処置内容	①環境方針	変更無し	
	②環境目標	変更無し	
	③環境経営計画	・取組状況のチェック表から点数の低い実施項目で、比較的活動しやすい項目を現状の活動計画表に追加する。（予定12月） ・従業員に再教育を実施する（全体会議時）	
	④環境経営システム	環境活動レポートの作成・・・6月19日予定とする（EA-21責任者）神崎 清孝	
実施体制		継続します。	